

第3四半期 決算補足説明資料 2020年12月期

2020年11月11日
Nexus Bank株式会社
(JASDAQグロース 証券コード：4764)



I. 2020年12月期3Qの概況

連結業績と主な取組み（サマリ）	: P4
Jトラストカードとの株式交換契約の締結	: P5
商号変更～Nexus Bank～	: P6

II. 連結業績の推移

連結業績推移（1Q-3Q累計推移）	: P8
連結業績の損益状況	: P9
営業損益の増減分析（前年同期比）	: P10
バランスシートの状況	: P11

III. セグメント別業績推移

投資銀行事業（1Q-3Q累計推移）	: P13
ITサービス事業（1Q-3Q累計推移）	: P14

IV. 参考資料

Jトラストカードとの株式交換契約の締結	: P16
A種優先株式の発行要項	: P17

I . 2020年12月期 3 Q の概況

連結業績

売上高：378百万円

（前年同期比：△388百万円）

営業損益：△199百万円

（前年同期比：+12百万円）

主な取組み

- ✓ 2020年9月23日にJトラストカードとの**株式交換契約を締結**（本契約の効力発生日である11月1日よりJトラストカード及びJT親愛貯蓄銀行を**新たにグループ化**）
- ✓ **Nexus Bank株式会社へ商号を変更**

投資銀行事業

- ✓ 大型M&A案件（Jトラストカードとの株式交換）に注力
- ✓ 融資返済遅延による貸倒引当金を計上した前年と比べ営業損失が縮小

売上高

218百万円

（前年同期比：△355百万円）

営業損益

△3百万円

（前年同期比：+94百万円）

ITサービス事業

- ✓ 前年計上された特需に伴う売上はないものの、不動産投資型クラウドファンディング開発案件や「Fast Connector」シリーズの新サービス案件の受注等、堅調に業績推移

売上高

159百万円

（前年同期比：△33百万円）

営業損益

30百万円

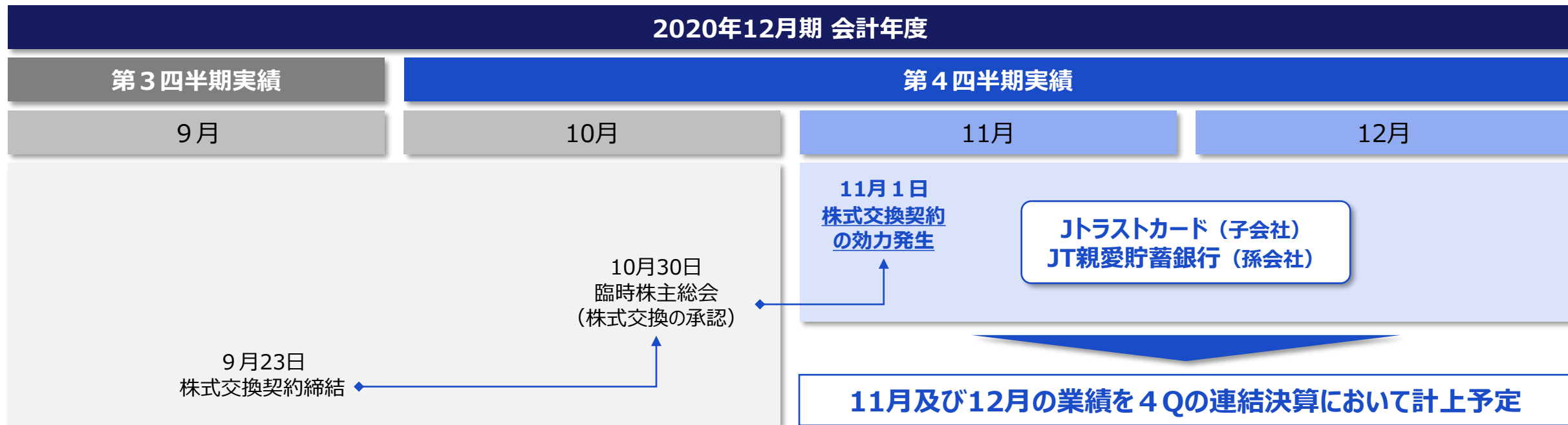
（前年同期比：△28百万円）

「経営基盤の安定化」と「さらなる事業領域の拡大」を図るべく、2020年9月23日に**Jトラストカード株式会社と株式交換契約を締結**。

安定収益基盤の構築とFintech事業におけるシナジー効果を目的とした**大型M&Aを達成**

本取組により、**Jトラストカード株式会社**とその子会社である**JT親愛貯蓄銀行株式会社**を新たにグループ化

■ 本取組による当社グループ業績への影響



2021年に創立25周年を迎えること並びに、今後のグローバル展開を見据えたFintech事業の成長と確立を目指し、2020年11月1日より商号を**Nexus Bank株式会社**へ変更。



Nexus (ネクサス) : 「つながり」という意味

シンボルマーク「N」 : 未来への懸け橋をイメージしたロゴを採用

「人の思い」と「お金」をつなげ、「金融」と「IT」をつなげ、新たな世界を創造し社会に必要とされる会社を目指すという思いが込められています。

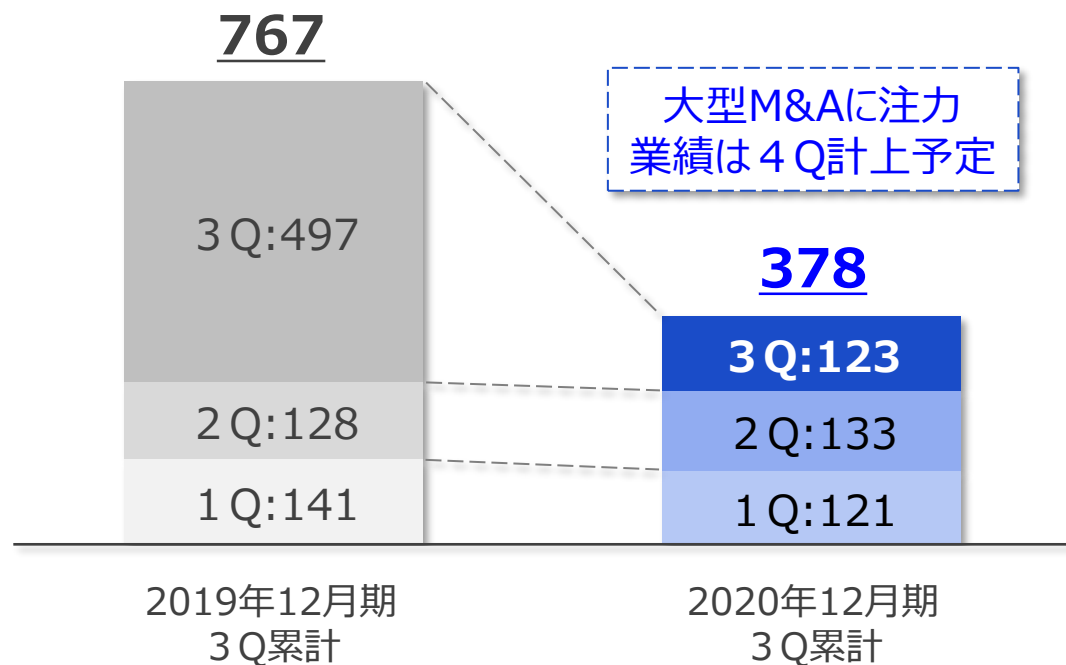
Ⅱ. 連結業績の推移

連結業績推移（1Q-3Q累計推移）

- 2020年12月期3Qの売上高は**378百万円**（前年同期比：△388百万円）、**営業損益は△199百万円**（前年同期比：+12百万円）にて推移。
- 大型M&A（Jトラストカードとの株式交換契約の締結）に伴う実績は、4Qの連結決算において計上予定。**

売上高

単位：百万円



営業損益*

単位：百万円

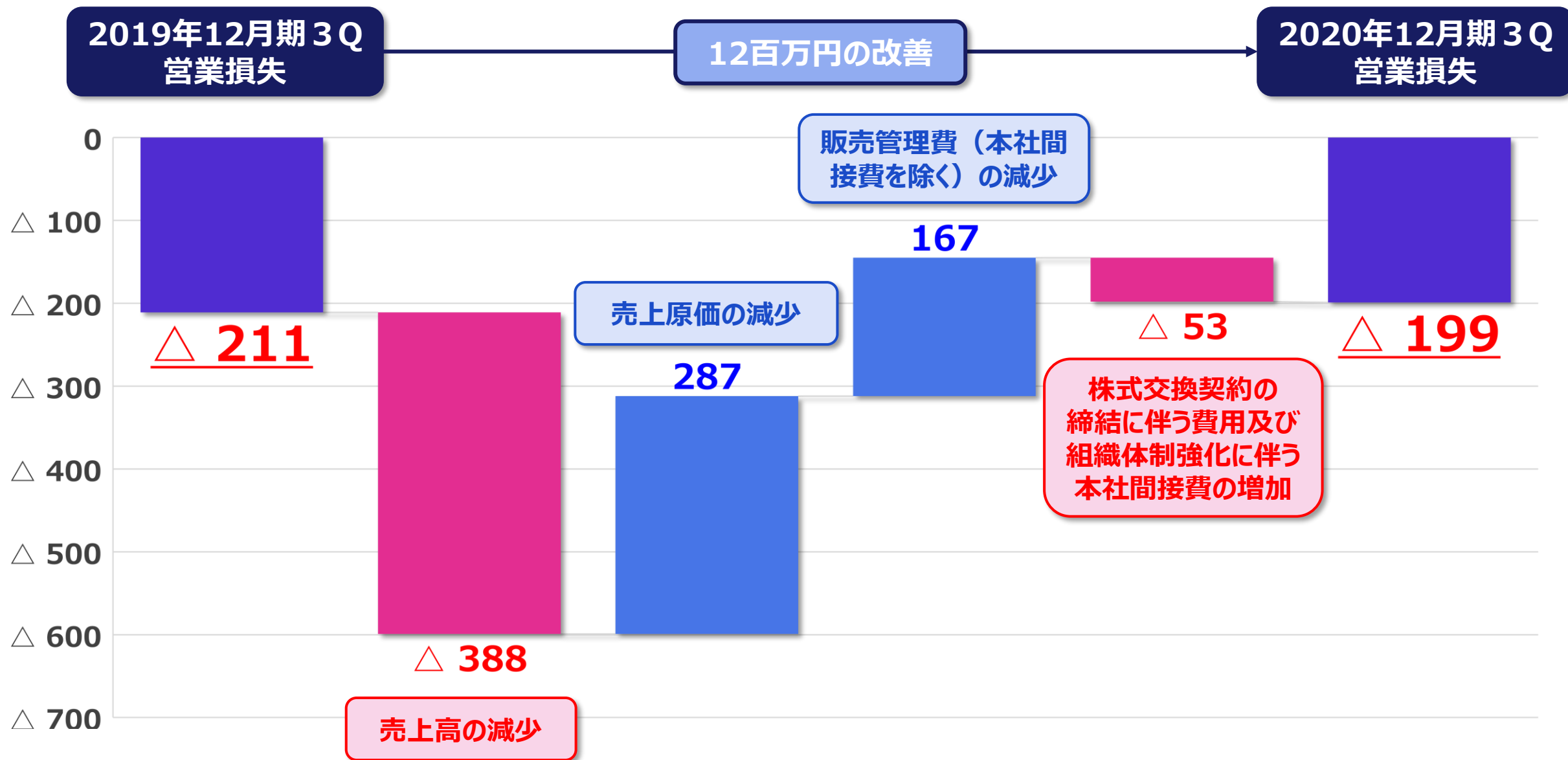


*営業損益は、セグメントに分配していない全社費用等を含む

単位：百万円

		2019/12期 3Q	2020/12期 3Q	増 減
連結業績	売上高	767	378	△388
	売上原価	394	106	△287
	売上総利益	372	271	△101
	販売費及び一般管理費	584	470	△114
	営業損益	△211	△ 199	+12
	経常損益	△217	△ 205	+11
	親会社に帰属する四半期純損益	△262	△ 293	△30
	1株当たり四半期（当期）純損益（円）	△7.50	△ 8.38	△0.87
セグメント別業績	投資銀行事業			
	売上高	574	218	△355
	営業損益	△98	△ 3	+94
	ITサービス事業			
売上高	192	159	△33	
営業損益	59	30	△28	

営業損益の増減分析（前年同期比）



単位：百万円

	2019/12 期末	2020/12期 3Q	増 減
流動資産	2,243	3,642	+1,398
現金及び預金	1,029	1,770	+741
営業貸付金	1,269	1,766	+497
貸倒引当金	△253	△7	+245
その他	197	112	△84
固定資産	763	694	△68
総資産	3,006	4,336	+1,330
負債	882	2,501	+1,618
有利子負債	197	177	△19
預り金	572	2,226	+1,654
その他	112	97	△15
純資産	2,123	1,835	△288
負債・純資産合計	3,006	4,336	+1,330

クラウドファンディングにおける投資家の投資資金預り残高の増加によるもの

クラウドファンディングサービス拡大に伴う貸付残高の増加によるもの

前年に計上した貸倒引当金を破産更生債権等に振り替えたことによるもの

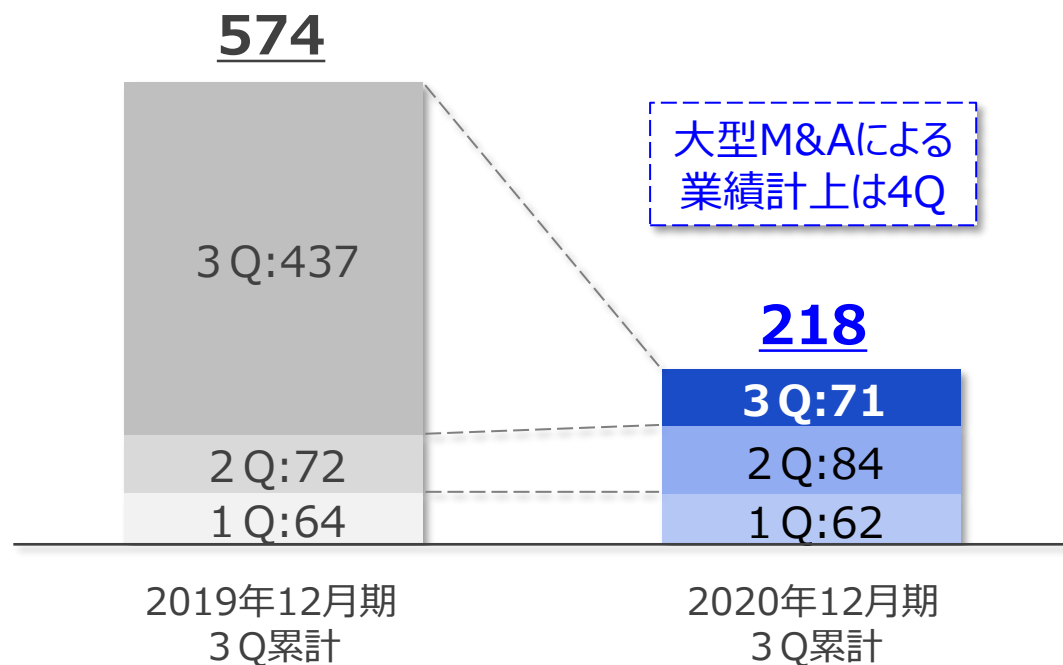
クラウドファンディングにおける投資家の投資資金預り残高の増加及びファンド運用残高の増加によるもの

Ⅲ. セグメント別業績推移

- 大型M&A（Jトラストカードとの株式交換契約の締結）に注力。業績は4Qに計上予定となることから、2020年12月期3Qの売上高は**218百万円**（前年同期比：△355百万円）と減収。
- 営業損益は融資返済遅延による貸倒引当金を計上した前年と比べ、△3百万円と**赤字幅が縮小**。

売上高

単位：百万円



営業損益

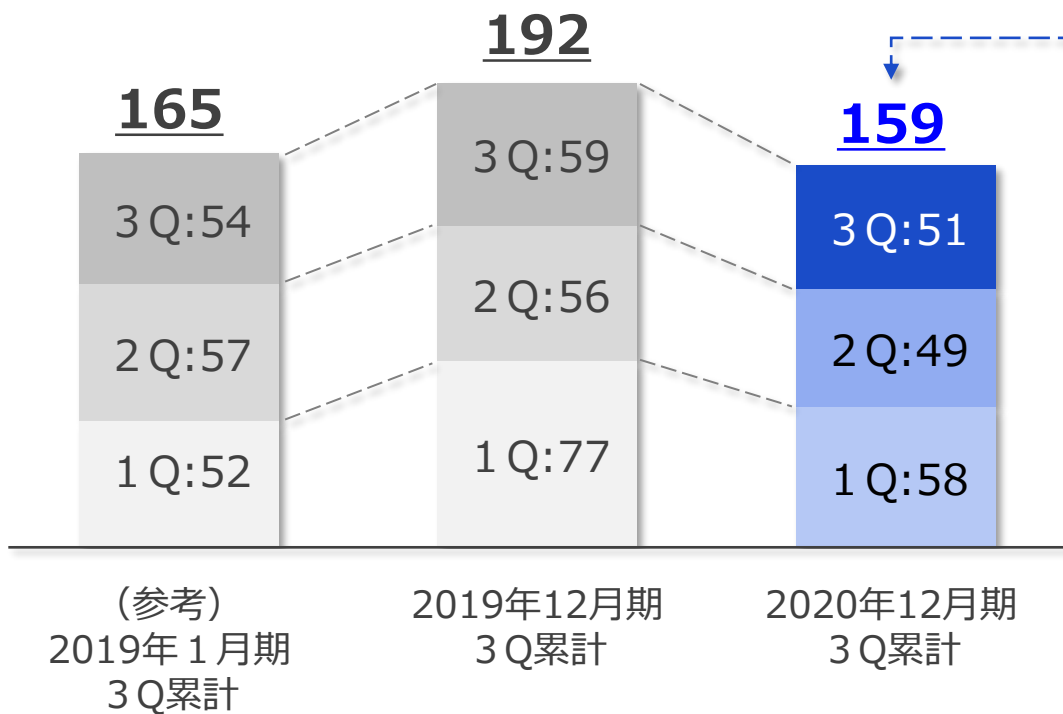
単位：百万円



- 前年に計上した特需に伴う大型案件の受注がなく、2020年12月期3Qの**売上高は159百万円**（前年同期比：△33百万円）、**営業損益は30百万円**（前年同期比：△28百万円）と推移したものの、足元では不動産投資型クラウドファンディングシステム開発案件や「Fast Connector」シリーズの新サービス案件等の受注がみられ**中期的には堅調に推移**。

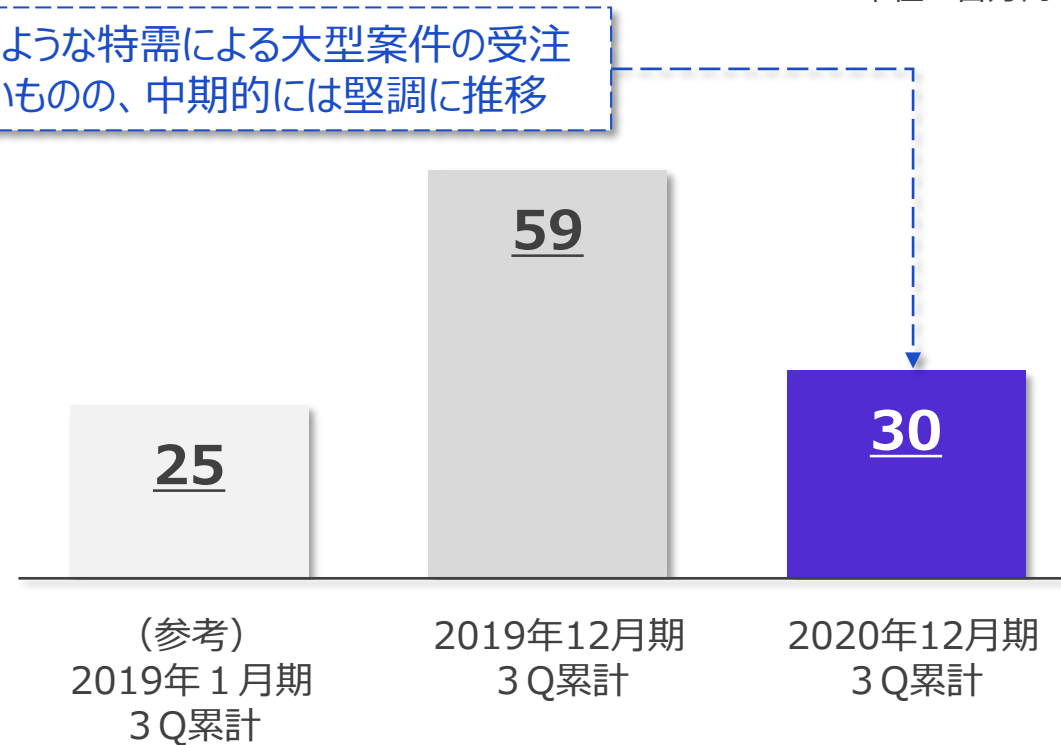
売上高

単位：百万円



営業損益

単位：百万円

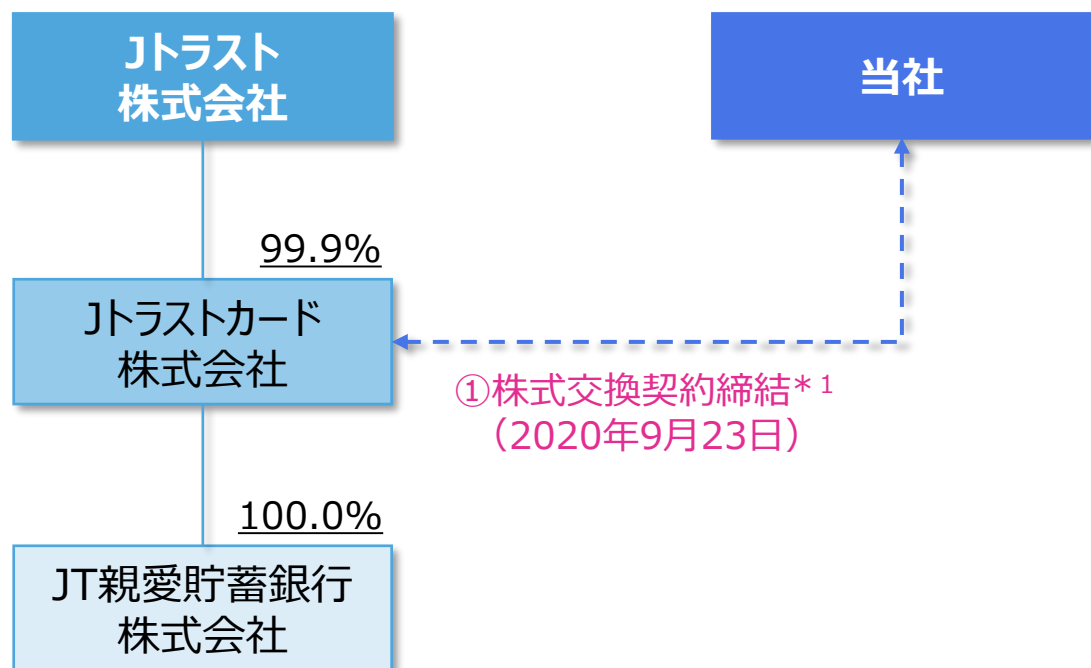


前年のような特需による大型案件の受注はないものの、中期的には堅調に推移

IV. 參考資料

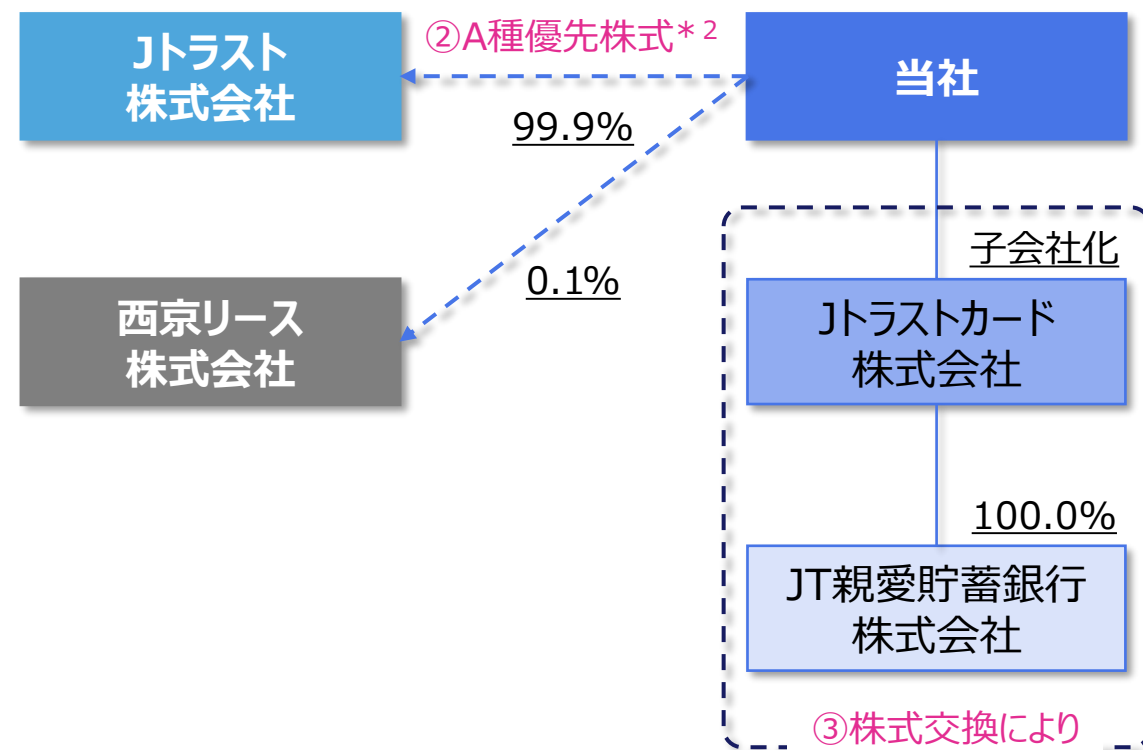
- 収益基盤強化ならびにFintech 事業におけるシナジー効果を目的として、当社を株式交換完全親会社とし、Jトラストカード株式会社を株式交換完全子会社とする**株式交換契約を2020年9月23日に締結**。
- 2020年11月1日よりJトラストカード株式会社を子会社化するとともに、JT親愛貯蓄銀行株式会社を孫会社化。

株式交換前の状況（2020年10月末まで）



①株式交換契約締結*1
(2020年9月23日)

株式交換後の状況（2020年11月1日以降）



③株式交換により
グループ化*3

* 1. 当社が新たに発行するA種優先株式とトラストカード株式会社の普通株式及び第二種優先株式が対象
なお本株式交換契約は、2020年10月30日開催の当社及びトラストカードの臨時株主総会決議にて承認済
* 2. 新たに発行するA種優先株式の概要は次頁の「A種優先株式の発行要項」にて詳細を記載
* 3. Jトラストカード及びJT親愛貯蓄銀行の業績は、11月1日以降、当社の連結業績として計上予定

- Jトラストカード株式会社との株式交換にあたり、当社は**A種優先株式1,700,788株を発行**。
- 経営の独立性の維持及び急激かつ大規模な希薄化の発生の抑制を目的として**転換請求権の行使制限、譲渡制限、担保制限等の諸条件を設定**。

A種優先株式の発行要項

発行日	・2020年11月1日（発行済）
発行株式数	・本優先株式： 1,700,788株 ・普通株式の潜在株式数： 170,078,800株 （希薄化率： 486.4% ）
払込金額	・1株につき当初転換価額 127円×100 （本優先株式1株につき普通株式100株） ・発行総額： 216億7,600円 *1
払込金額の総額	・Jトラストカードの株式を対価とし金銭による払込みを要しない
割当先	・Jトラスト株式会社 : 1,699,140株 ・西京リース株式会社 : 1,648株

*1. 発行総額の算定式；12,700円×1,700,788株 = 216億7,600円

*2. 当社の取締役会の承認なく転換請求が行われた場合は、議決権割合15%を超過することとなる部分に係る転換請求は無効となる

*3. 当社の取締役会の承認なく譲渡又は担保に供された本優先株式の転換請求権は失効する

A種優先株式に関する諸条件

目的	・経営の独立性の維持 ・急激かつ大規模な希薄化の発生の抑制
転換請求権の行使制限	普通株式の議決権割合が 15%以上 となる転換請求は、当社の 取締役会の承認 なく、行うことができない*2
譲渡制限	A種優先株式を 譲渡 により取得する場合は、当社の 取締役会の承認 が必要*3
担保制限	A種優先株式を 担保 に供する場合は、当社の 取締役会の承認 が必要*3

本資料に関する問合せ窓口

経営管理部 IR担当

問合せページ : https://www.nbank.co.jp/ir_inquiry/